みどり認定を受けましょう！

みどり認定とは、みどりの食料システム法に基づいた「認定制度」で、環境負荷の低減に取り組む５年間の事業計画を知事が認定します。

今後の変更点！

環境こだわり農産物の生産と併せて、環境負荷低減技術に取り組む場合に交付される「**環境保全型農業直接支払交付金**」は、令和９年度から**みどり認定を受けた農業者による先進的な営農活動を支援する仕組みに移行**します。詳細は改めてお知らせします。

STOP！農業濁水　秋から始める農業濁水対策

田植えまでの４STEP

STEP 01	STEP 02	STEP 03	STEP 04
①均平作業	②漏水防止	③適量入水で浅水代かき	④落水なしの移植
・秋耕は平耕で！ ・丁寧な均平化で後の水管理もしやすく ・除草剤効果も向上	・畔周りの点検、補修 ・排水口には止水版を設置	・計画的な水管理 ・水を入れすぎず、**土が７～８割見える程度**	・やや深くても、回転マーカーのラインは見えます







田植えの前に降雨等で深水になっても **田植え直前に落水しない！**

滋賀で農業を始めるなら、滋賀県立農業大学校へ！

滋賀県立農業大学校（以下、「農大」）では、実践学習を通じて農業に必要な専門知識・技術を習得することができます。

↑農大 HP

	募集定員	専攻コース	修業年限（研修期間）	主な応募資格	選考方法
養成科	30名	水田農業、茶、施設園芸(野菜・花き)、果樹、畜産	2年	高等学校を卒業、または令和9年3月卒業見込みの者等	1)筆記試験 ・小論文 ・総合問題(農業問題含む教養問題) 2)面接(口述試験を含む)
就農科	15名	園芸（野菜、花き、果樹）	1年	・20歳以上65歳未満 **・県内で農業経営を行うことが確実な者（就農する農地を確保済みまたは確保の見通しがあること）または農業法人等の経営者もしくは農業部門責任者になる者（農業法人等の推薦を受けていること）** 等	1)筆記試験 ・小論文 ・農業基礎問題 2)面接(口述試験を含む)

詳細については、２次元コードより HP をご確認ください。

興味がある方は農大（0748-46-2551）、もしくは当課までお問い合わせください。

Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から

農産普及課 情報

2026 No.254

アグリ高島



表 紙　さんさんとふりそそぐ太陽光に育まれた「ことさんさん」

滋賀の農業の未来を切り拓く！暑さに強い水稲品種が誕生！……Ｐ２
「オーガニックといえば高島」をめざしましょう！！……Ｐ３
みどり認定を受けましょう！……Ｐ４
STOP！農業濁水　秋から始める農業濁水対策……Ｐ４
滋賀で農業を始めるなら、滋賀県立農業大学校へ！……Ｐ４

発　行｜高島農業農村振興事務所 農産普及課　令和８年11月発行　／　発行責任者｜松尾　多希子
住　所｜〒520-1621　高島市今津町今津1758　／　ＴＥＬ｜0740-22-6025～6028　／　ＦＡＸ｜0740-22-3099

滋賀の農業の未来を切り拓く！
暑さに強い水稲品種が誕生！

近年の猛暑により、「キヌヒカリ」や酒米「吟吹雪」の品質や収量の低下に悩まれている方も多いと思います。この課題を解決すべく、県農業技術振興センターでは猛暑でも収量、品質に優れ安定した生産が可能となる期待の新品種として、「ことさんさん」と、酒米「湖響（こきょう）」を長い歳月をかけて育成しました。

～「ことさんさん」～

湖都である本県の水田で稲穂がさんさんと太陽の光を浴びている様子をイメージして名づけられました。暑さに強く、良食味・多収で栽培方法の制限はありません。

<「キヌヒカリ」との比較表>

	「キヌヒカリ」	「ことさんさん」
高温登熟性	劣る	**優れる**
成熟期	8月30日	**9月5日**
いもち病抵抗性	やや弱い	**弱**
耐倒伏性	やや強	**やや強**
穂発芽性	やや易	**かなり難**
食味評価 ※「コシヒカリ」を基準として評価	-0.15	**0.05**
単収（kg/10a）	548	**631**



図 1.「キヌヒカリ」（左）と「ことさんさん」（右）の玄米

6 日遅い

コシヒカリと同等以上の良食味！

約 1 割多収！

～酒米「湖響（こきょう）」～

きらきらとした美しい琵琶湖をイメージして名づけられました。近江の地酒として多くの人の心に響き渡るよう想いが込められています。

＜特徴＞

・収量：「吟吹雪」の約 2 倍にあたる 620kg/10a と多収性です。
・品質：「吟吹雪」と比べて千粒重は 5%高くて心白の発現も多く、酒造用に適しています。
・酒質：「吟吹雪」に近く、口当たりがまろやかなお酒に仕上がります。
・特性：成熟期は 9 月 16 日、耐倒伏性はやや強です。



図 2.「湖響」の玄米

県ではこれら 2 品種の令和 12 年産の栽培面積を「ことさんさん」は 5,000ha、「湖響」は 100ha を目標に推進してまいります。令和 9 年産から本格栽培が始まる暑さに強い近江米新品種の作付けをぜひご検討ください！

「オーガニックといえば高島」をめざしましょう！！

有機農業とは

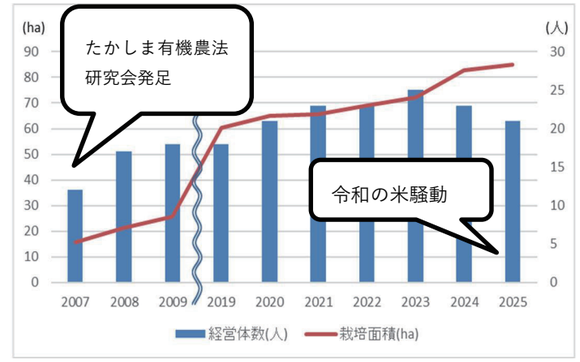
有機農業は、「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業をいう。」と定義されています。

国では 2050 年に耕地面積の 25%を有機農業とすべく推進しています。また、滋賀県は環境保全型農業の先進県として 2030 年のオーガニック米の作付面積を 420ha に拡大する目標を掲げています。なかでも品質や食味が良く、多収性である「きらみずき」を有機農業推進の専用品種として推進を行っています。

高島市は有機栽培の先進市

高島市では約 20 年前から水稲の有機栽培に先進的に取り組まれており、2025 年には 85ha の作付けがありました。これは県内有機栽培面積(水稲)の約 4 分の 1 に相当します。

来年の「オーガニックビレッジ宣言」にむけて、生産者や流通関係者も含めた話し合いが進んでいます。



高島市の水稲有機栽培面積と経営体数 （農産普及課調べ）

水稲の有機栽培は難しい？

有機栽培の生産は農薬等を使わないこともあり、一般的に生産コストや手間が増加し、収量は低くなります。その減収の主な要因である雑草害対策としては①秋耕、②冬期・早期湛水、③複数回代かき、④米ぬか散布、⑤水田除草機の活用、⑥深水管理、⑦適度な中干し等があります。

JA レーク滋賀は今年 3 月に有機栽培の部会を設立し、来年から水田除草機の貸し出しを予定されています。また、栽培技術に関しては市、県、JA 等の関係機関で有機栽培の研修会を年数回開催しています。

さらに、県ではＪＡＳ認証取得やきらみずきの有機栽培に必要な機械の導入支援を実施しているほか、水稲有機栽培の技術をまとめた「オーガニック近江米の手引き」を発行しています。必要な方は当課までお問い合わせください。



水田除草機